

# 大日本帝國政府

## 一、警察官吏教養ノ強化充實ニ關スル件

近年新編採用選考ノ學力、嚴格其ノ他逐次世下ノ傾向ヲ承シ又今次採用年齡ノ引下ケヲ行ハレタルアリ現下級々複雑多岐ヲ加フル警察事務ニ處スルニハ其ノ教養ノ強化充實ハ甚ニ緊要ナリ特ニ初任教養及現在<sup>任</sup>教養ニ關シテハ期間ノ延長、教科目及授業制當時間ノ再検討並ニ授業方法ノ改善等ニ格段ノ意ヲ致シテ教養ノ完備ヲ期スルニ努メラレ度シ

大日本帝國憲法

第一條 大日本帝國由皇帝統治之  
 第二條 大日本帝國之憲法以神祕不可侵之神聖不可侵犯之天皇為其基礎  
 第三條 天皇為國家之主權者、總攬國家之統治權、其行使之權、依法律之規定、由國務卿輔佐之、  
 第四條 天皇為神聖不可侵犯、不受法律之拘束  
 第五條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、  
 第六條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、  
 第七條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、  
 第八條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、  
 第九條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、  
 第十條 天皇之法律行為、依國務卿之輔佐、由國務卿署名、

大日本帝國政府

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

（國定規格B5(182x257)）

發番第四九號

昭和十九年五月三日

總府縣長官殿

內 務 次 官

決戰非常措置要綱ニ基ク電氣通信設備ノ動員ニ關スル件

本邦ニ於ケル電氣通信設備ノ動員整備ヲ行ヒ、要員、物資、資金ノ徹底的<sup>的</sup>底經濟化ヲ圖ルト共ニ、非常時ニ於ケル各廳施設ノ綜合的利用ヲ可能ナラシメ以テ戰時下國家ノ樞要通信施設特ニ國土防衛通信網ノ急速ナル完成ヲ期スル爲四月七日別紙甲ノ通決戰非常措置要綱ニ基ク電氣通信設備ノ動員整備ニ關スル件閣議決定相成候處當省所屬營業、防空通信施設ニ對シハ通信院總裁トノ間ニ別紙乙ノ通甲台事項ヲ成立シ之ヲ

條件トシテ通信院線ニ統合スルコトト相成候條右御了知相成度候  
進而本件實施ニ關シテハ更ニ各縣府縣ト具體的專項協議ノ豫定ニ有  
之候得共別紙御參照ノ上對策御考慮置相成ト共ニ、通信院側ヨリ確  
實ナル代替専用通話回線ノ提供逐次行ハルル豫定ナルモ之ガ完了迄  
ハ尙相當期間ヲ要スベキヲ以テ其ノ間ニ於ケル經常保守及必要ナル  
整備ニ付テハ萬遺漏ナキヲ期シ、通信機能ノ低下ヲ來スガ如キコト  
ナキ様特ニ御留意相成度候

決戰非常措置要綱ニ基ク電氣通信設備ノ  
動員整備ニ關スル件

昭一九四七  
閣議決定

### 第一方 針

本邦ニ於ケル電氣通信設備ノ動員整理ヲ行ヒ、要員、物資、資金  
ノ徹底的經濟化ヲ圖ルト共ニ、非常時ニ於ケル各縣施設ノ綜合的  
利用ヲ可能ナラシメ、以テ戰時下國家ノ樞要通信施設特ニ國土防  
衛通信網ノ急速ナル完成ヲ期セントス

### 第二 要 領

(一)有線設備ノ統合整理ヲ行フ

各縣有線設備ノ統合整理ニヨリ、主要物資ノ回收活用ヲ圖リ、  
以テ施設ノ強化、機能ノ向上ヲ期スルト共ニ、空襲其ノ他大災

害ニ對應スル鞏固ナル通信系統ヲ整備スル爲左ノ措置ヲ講ズ

(イ) 主要區間回線ノ統一收容

各廳電氣通信ノ主要區間回線ヲ通信院ケイブルニ統一收容ス  
之ガ爲市外ケイブル網改造工事ノ促進ヲ圖ル

(ロ) 短距離區間回線ノ線路統一

短距離區間ノ回線ハ原則トシテ通信院線路ニ統一ス

(ハ) 市街地線路ノ統一

市街地ニ於ケル通信回線ハ原則トシテ通信院地下線路ニ統一  
ス

(ニ) 無線設備ヲ整備シ運用ヲ統制ス

非常災害時ニ於ケル無線通信機能ノ活用ヲ全カラシメ、以テ通

信連絡ノ絕對確保ヲ期スル爲、重要地ニ對シ超短波多重通信施設其ノ他非常用無線設備ノ擴充整備ヲ圖ルト共ニ無線通信ノ運用ヲ統制ス

(三) 非常時ニ於ケル施設ノ綜合的利用ヲ圖ル

空襲其ノ他非常事態ニ對應シ、各廳有無線通信施設ヲ綜合體的ニ利用シ得ル如ク之ガ計畫並ニ施設ヲ爲ス

(四) 施設計畫ノ綜合調整ヲ強化ス

國家ノ樞要通信施設特ニ國土防衛通信網ノ最重點的整備ヲ行フ爲、各廳有無線通信施設計畫ノ綜合調整ヲ強化ス

(五) 施設ノ建設保守ヲ一元化ス

技術ノ統一向上及建設、復舊工事ノ迅速化並ニ要員、物資、資

金ノ徹底の經濟化ヲ圖ル爲、各總電氣通信施設ノ建設保守ハ原則トシテ之ヲ通信院ニ一元化ス

### 第三 指 置

(一) 本要領ノ實施ニ依リ回收シ得ル主要物資ハ國土防衛通信施設ノ整備ニ優先的ニ充當ス

(二) 本要領ニ依リ回線ヲ通信院ニ移管シタル場合ニ於テハ現在線路ノ有スル綜合的且特殊の機能ヲ保持スルニ必要ナル通話回路ヲ當該國ニ専用セシムルモノトス

(三) 本要領ノ具體的實施方策ハ通信院ニ於テ關係各機關協同シテ之ヲ策案スルモノトス

(四) 本要領實施ニ際シテ會計上必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

### 備 考

一、軍用電氣通信設備ニツイテハ其ノ特殊性ニ即應スル如ク特別ノ措置ヲ講ズルモノトス

二、鐵道專用通信設備ニツイテハ其ノ特殊性ニ鑑ミ鐵道輸送ノ運轉ニ支障ナカラシムル種措置スルモノトス

三、運輸通信大臣通信施設整備ニ關スル年次又ハ臨時的ナル計畫ヲ定ムル場合警察通信施設ニ關スル事項ニ付テハ内務大臣ニ協同ノ上之ヲ爲スモノトス

決戦非常措置要綱ニ基ク電氣通信設備ノ  
動員整備ニ關スル件申合事項

首題ノ件ニ關シ内務省關係事項ニ付テハ左記ノ通譯解カ至實施スル  
モノトス

記

- 一、第一方針中國土防衛通信網中ニハ警察、防空通信施設ヲ包含スルモノトス
- 二、統合整理ヲ行フベキモノハ現在警察電話線ノ全部トス
- 三、無線設備ノ整備ニ關シテハ從來ノ内務省警察專用無線施設計畫ノ趣旨ノ實現ニ努ムルモノトス
- 四、無線設備ノ整備統制ハ現ニ警察ニ許容セラレアルモノ及之ト同

性質ノモノノ將來ノ整備ニ支障ヲ與フルニアラザルモノトス

(例ヘバ警視廳本廳ト移動自動局トノ無電、水上警察署ト見張トノ無電ノ如キモノ)

五、警察通信施設ノ整備及運営ノ改善等ニ關スル事項ハ移管後ニ於テモ内務省及關府縣ニ於テ計畫ヲ設定シ通信院ニ之ヲ提示スルモノトス

六、非常災害時又ハ障碍時ノ修理、應急復舊ハ警察通信ニ與リ同線ニ付テハ最優先的ニ取扱フモノトス

七、警察上ノ必要ニ基ク緊急ナル通信需要(警備、災害、議會ノ臨時移轉其ノ他ノ臨時緊急ナル通信需要ノ如キ)ニ付テハ緊急架設其ノ他必要ナル措置ヲ講スルト共ニ事宜ニ依リテハ警察例ニ於テ臨時架設等ヲ行フコトアルモノトス

八、移管ニ依リ専用スル回線ニ付テハ警察業務ノ特異性ニ應ジ必要ナル指令通信、同時通話、自動直結、寫真電送其ノ他ノ特殊運用ニ支障ナカラシムルモノトス

九、統合ニ伴フ専用料其ノ他ノ所要經費ハ現在ニ於ケル實質上ノ支辨經費ヲ超ヘザル範圍ニ於テ且財政上容易ニ負擔シ得ル程度ニ止ムルモノトシ之ガ決定並ニ變更ニ付テハ内務省ニ協議スルモノトス

一〇、前記五、七、八等ノ事項ノ實施ニ必要ナル職員、資材等ハ依然之ヲ警察例ニ存置スベキモノトス



昭和十九年四月十一日

内務次官 印

通信院總裁 印

昭和十九年三月二十五日

内務省警保局警務課長

露府編警察（警務）部長殿

警察通信施設ノ統合強化ニ關スル件

決戦下警察通信ハ愈々重要性ヲ加ヘ其ノ施設ノ整備ハ甚ニ緊要ナルモノアルニ拘ラズ所要物資等ハ益々逼迫ヲ告ゲ新規擴充ハ固ヨリ尋常保守上ニモ著シク支障ヲ及ボシ自然機能ノ低下ヲ免レザルモノアルハ道山トスル所ニ有之候處更ニ政府ニ於テハ戦争遂行上新ナル要請ニ依リ國土防衛通信網ノ急速ナル完成ニ迫ラレツツアリ之ガ爲ニ